



狂通  
言し  
仮名手本忠臣蔵

(五段目より七段目まで)

まんが  
細川 貂々

# 五段目

## 山崎街道出合いの段 二つ玉の段

早野勘平は、殿様が  
起こした事件の後、妻おかる  
の実家で獵師をしていました



ある夜、勘平は山崎街道で  
一人の武士と  
出会います

火をお借り  
したいの  
ですが

あっ  
あなたは!!



以前  
同じ殿様に  
お仕えした  
同僚・  
千崎弥五郎  
でした

ご無事  
で!!



仇討ちをする  
うわさを  
聞きました



どうか私も  
連判に加えて  
ください!!

私は亡き殿の  
仇討ちをかくして

石碑を立てる  
ためとして  
御用金を  
集めています



わかりました  
急いでお金を  
用意します!!

さらば

さらば

二人は再会を約束  
して別れるのでした



財布には娘のおかるを  
売った前金の五十両が  
入っていた



そこへ  
猪がかけて  
くる



定九郎は  
猪を狙った弾に  
当たって死んで  
しまう

バタン

猪!!  
うち止め  
た!!



これは人...

勘平は懐の財布に  
気づいて  
「天の助け」と財布を  
つかんでかけだしていく

# 六段目

## 身売りの段

### 早野勘平腹切の段

翌朝家に帰らない父を娘と母が心配している

そうこうしてるうちに祇園の一文字屋の亭主がおかるをむかえにきた

えっ  
与市兵衛さん戻ってない？  
そんなの知りませんよ  
連れていきますよ!!

そこへ勘平が帰ってきた  
どうしたんです？

実は……

母は事情を話す

ハア  
これはかたじけない……

昨夜私は前金五十両をこの着物と同じ布で作った財布に入れて与市兵衛さんにわたしましたよ

えっ  
千ッ  
ということは鉄砲でうち殺したのはしゅうとだったか

さらば  
ガーン  
ガーン  
衝撃をうけたまま勘平はおかるのカゴを送り出す

そこに  
与市兵衛の  
死体が  
運びこまれる

えっ  
えっ



驚かない勘平を不審に  
思った母は  
血のついた財布を  
引き出し



もしや  
親父殿を  
殺したのは  
あなたか?



人でなし!!  
鬼よ!!  
邪よ!!

そこに  
原郷右衛門  
千崎弥五郎  
が来る



由良助殿は  
不忠義をした  
そなたからの金は  
うけとれないそうだ

その金は  
しゅうとを殺して  
盗った金!!



なにっ?!  
うつけ者の  
非義非道



仇討ちの望みが叶わぬ時は  
切腹しようと思つてました

あやまちとはいえ  
しゅうとを鉄砲で  
撃ち殺し、女房を  
売った金を盗って  
しまった



ところが  
与市兵衛の死因は刀傷  
山中で鉄砲にうたれて  
死んでいたのは定九郎と判明

汚名が晴れた  
勘平は仇討ちの  
連判状に血判を  
押し、望みを  
叶えるのでした



七段目

祇園一力茶屋の段

京の祇園にある一力茶屋  
大星由良助はここで連日  
遊び続けていました

手のなまる  
ほーらへなま

そこに  
仇討ちを志す  
者たちが  
本心をたしかめに  
来ます

私も仇討ち  
に参加させて  
ください!!

足輕の  
寺岡平右衛門

仇討ちなんて  
得にならない  
やめたやめた

ごろん

なんと!!

由良助の息子  
力弥が

塩谷判官の妻  
顔世御前からの  
手紙を持ってきました









由良助殿が  
身請け話を  
持ちかけたのは  
口封じをするため

どうせ殺されるなら  
兄が手にかけてその手柄で  
仇討ちに加わりたい!!



おかる  
お前は  
知らないが

勘平は腹を  
切って死んだ!!

ええええ



兄妹とも  
見上げた  
心意気

平右衛門  
仇討ちに加わる  
ことを許す



待て!!



勘平さんが  
死んだのなら  
生きている意味  
がないわ

兄さんの手に  
かかれば母さんが  
悲しみます

自害  
します!!



そして塩谷家の家老で  
ありながら敵に内通して  
いた九太夫を

鴨川へ投げこむ  
よう平右衛門に  
命じるのでした



勘平は連判に  
加わったが敵を  
一人も討ちとれ  
ないので

おかるに  
床下にいる  
九太夫を刀で  
突かせる

わー